

第2回三条市教育制度等専門部会会議次第

と き：平成19年7月12日（木）

午後1時30分～4時

ところ：三条市役所栄庁舎3階大会議室

1 開 会

2 開会のあいさつ

3 協 議

- ・ 三条市の教育資源を活かした教育活動について
- ・ 学期制の検討について
- ・ 学校の建て直しと統廃合計画について

4 その他

5 閉 会

(配布資料)

資料No.1 平成19年度第2回教育制度等専門部会
検討項目

- 三条市の教育資源を活かした教育活動
- 学期制の検討
- 学校の建て直しと統廃合計画

資料No.2 第二回教育制度等専門部会 別紙資料

平成19年度 第2回教育制度等専門部会

検討項目

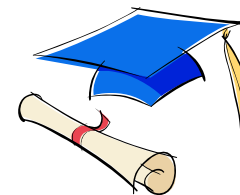


- 三条市の教育資源を活かした教育活動
- 学期制の検討
- 学校の建て直しと統廃合計画

三条市教育委員会



検討項目



- 三条市の教育資源を活かした
教育活動

三条市の教育資源を活かした教育活動

検討の視点

地域学習

現状

- 自ら生まれ育った地域に誇りを持ってない子が多い。
 - ・三条の文化や歴史を深く知らない。
 - ・社会科や総合的な学習の時間で地域学習を行っているが単発的で系統性に弱さがある。
- ものづくり教育・科学教育の改善が図れない。
 - ・活動のみに終わっており、ものづくりの喜びや子どもの発想・創造性が活かされた取組までに至っていない。
 - ・移動時間を含めた十分な時間の確保と講師の確保が困難である。

背景

- 仕事への誇りがもてず、職業を楽しんでいない親の増加
- 成果主義・能力主義の社会への変化
- 車社会によって学校と地域の交流が低下



- ・郷土に関する学習機会の必要性

課題

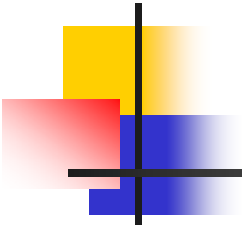
<将来の夢や希望をもたせるために>

- 郷土に学ぶ学習の推進
 - ・三条の歴史や文化などに学び、三条に誇りをもたせる。
- ものづくり・科学教育の充実
 - ・ものづくりの喜びを感じ、楽しく考えたり工夫したりすることによって発想力・想像力を養う。

基本的な考え方

9年間を見通した地域学習を展開し、夢や希望を持たせる取組の推進。

- 郷土に学ぶ学習の推進
 - ・地域力を借り、9年間の中で計画的かつ系統的に地域学習を推進する。
 - ・「発表会」を行うなど、考えを伝えたり表現したりする場をもつ。
- ものづくり・科学教育の充実
 - ・「科学教育推進事業」「ものづくり教育」の成果を全市へ広げる。
 - ・9年間の中で「ものづくり・科学教育」の時間を十分に確保し、計画的に実施する。



検討項目



■ 学期制の検討

学期制の検討

検討の視点

2学期制導入の是非

現状

○校長会では、2学期制導入は期待したほど時数が増えないという実態等から、今後の検討課題とする。

○各学期の間に長期休業が入り、児童生徒の「学びの連続性(つながり)」が切れてしまう。

課題

○授業時数の増加の提言を受けて

- ・授業時数を増やす方策は？

○学びの連続性(つながり)

- ・長期休業中の「学びの連続性」を意識した具体的取組は？

基本的な考え方

○**授業時数の増加について**

～3学期制を維持しながら、「長期休業日の見直し」と「週の時数の見直し」で対応する。

【例】長期休業日の見直し～夏季休業の前半1日後半3日短縮で、 $5H \times 4日 = 20H$ 増

～冬季休業の前半1日短縮で、 $5H \times 1日 = 5H$ 増

【例】週時数の見直し～朝学習15分 \times 3日(1か月で4H増)で、10か月で40H増

～5時間の日を6時間にするなど(週1H増)で、年間35H増

○**学びの連続性(つながり)について**

- ・教科の学習内容の定着や学習意欲(「総合」で調べたいという願いも含む)の持続を目的に、長期休業を効果的に活用した取組をすることで、児童生徒に「学びの連続性(つながり)」をもたせることができる。

背景

○**県の状況** H19 3学期制小69.9% 中60.9%

2学期制小30.1% 中39.1%

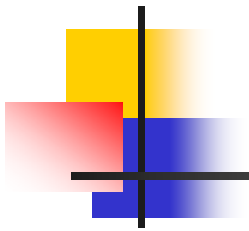
新潟県内実施の推移

校種	学期制	H17	H18	H19
小学校	3学期	501校	428校	393校
	2学期	67校	139校	169校
中学校	3学期	202校	160校	145校
	2学期	38校	79校	93校

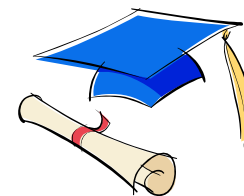
○**国の動向**→教育再生会議では、**授業時数の10%増**を提言

例：2学期制導入～授業時数が増え、学期間では、「学びの連続性(つながり)」を生むとの期待

他に、朝の15分授業 長期休業日の見直し 等



検討項目



- 学校の建て直しと統廃合計画

学校の建て直しと統廃合計画

検討の視点

小中一貫(連携)教育を進めるために
(ソフトの面から)

現 状

- 小学校
1学年1学級→学級編制不可、子どもの人間関係の固定化
- 中学校
1学年1学級→小学校とほぼ同様
学校全体としての教員数が少ないため、部活動選択に制限

ある一定の規模が保障されることが必要

第1回専門部会から

- 学力向上の面
進んでもの・こと・人とかかわり、学び会う授業で子どもの学習意欲の向上
- 生徒指導の充実の面
9年間の発達段階を踏まえた人間関係力の重要性
- 教員の意識改革の面
小・中の教員が互いに協力して子どもを伸ばす意識・姿勢の高揚

課 題

- 課題1 教育環境の整備
9年間を通し、発達段階を考慮し、多様な教育活動が保障できる適切な学習・生活環境
・中1ギャップ(学習面、生徒指導面)の解消に向けた環境
・小・中学校の交流教育、教師の連携がスムーズであること
- 課題2 適正人数の確保
学び合い高め合いのできる最低限必要な人数規模や適正な教員の配置
・子どもが効果的に学習できる学級数を定め、適正な教員配置が保障されること

教育活動、適正規模から最適な環境づくり・小中合築型、分離型の校舎の検討

基本的な考え方

- 教育環境の整備
・教育活動で多様に活用できるスペースの確保・子ども・教員のスムーズな移動の保障
・小中一貫(連携)教育モデル校の検討
- 適正人数の確保
・小学校は12学級(学年2学級)以上、中学校は9学級(学年3学級)以上

第2回教育制度等専門部会

●別紙資料



三条市内中学校の学校規模による比較(平成18年度)

	A 中	B 中	C 中
学年学級数	1・3年1学級 2年2学級	3学級	6学級(特別支援学級2)
学校規模	4学級規模	9学級規模	20学級規模
学級人数	20～36人	36～33人	36～31人
学年人数	50～36人	108～97人	218～191人
全校人数	127人	310人	628人
クラス替え	学年によりできる	できる	
教職員の配当 基準(18年度)	教諭 6人	教諭 14人	教諭 31人
少人数加配	1人	2人	5人
教科指導の具体例	2教科で複数教員 1教科免許所有者なし	7教科で複数教員	9教科で複数教員
	教科担任は、ほぼ同じ 先生になる。	学年・学級により教科担任が変わる可能性がある。	
教科打合せ	ほとんどできない。	教科内で、開催できる。	
部活動の具体例	7部活	10部活	23部活
	運動系5 文科系2	運動系8 文科系2	運動系14 文科系9
総合的な学習の時間	教員数が多いほど、多様な取り組みを実施しやすい。		
校務分掌	学校規模に関わらず校務はほとんど変わらない。		

平成18年度 学級数及び児童生徒数

平成18年5月1日現在

	1		2		3		4		5		6		小 計		特 別 支 援 学 級						小 計		合 計		
	学 級	人 数	学 級	人 数	学 級	人 数	学 級	人 数	学 級	人 数	学 級	人 数	学 級	人 数	1	2	3	4	5	6	学 級	人 数	学 級	人 数	
三 条 小	1	17	2	33	1	28	1	31	1	36	1	29	7	174	2	1	1	4	2	2	3	12	10	186	
一ノ木戸小	4	126	4	125	4	122	4	124	4	125	4	130	24	752		2	4	1	5	2	3	14	27	766	
四日町小	2	54	2	50	2	57	2	49	2	54	2	64	12	328		6	1	1		2	3	10	15	338	
裏 館 小	3	71	2	47	2	60	2	42	2	57	2	59	13	336	1	1		1	1	1	1	5	14	341	
上 林 小	2	38	1	27	1	33	1	25	1	37	1	36	7	196									7	196	
井 栗 小	3	72	3	67	2	53	2	71	2	52	2	56	14	371		4	2	1	2	2	2	11	16	382	
旭 小	1	13	1	11	1	11	1	12	1	7	1	11	6	65									6	65	
西 鱈 田 小	2	52	2	41	2	46	1	39	2	42	2	41	11	261		2	1				1	3	12	264	
月 岡 小	2	53	2	49	2	65	2	49	2	68	2	59	12	343	2	2	2	1			2	7	14	350	
大 崎 小	5	135	5	130	3	114	5	163	3	117	5	170	26	829		3	2		1	1	2	7	28	836	
保 内 小	1	27	2	38	1	38	1	22	1	36	1	38	7	199									7	199	
大 島 小	1	10	1	11	1	17	1	13	1	17	1	22	6	90	1	1	1				1	3	7	93	
須 頃 小	1	18	1	16	1	19	1	25	1	17	1	24	6	119									6	119	
条 南 小	2	51	2	60	2	54	2	64	2	50	2	62	12	341		1		2			1	3	13	344	
南 小	2	62	3	65	3	85	2	64	2	57	2	48	14	381		1		4	2		2	7	16	388	
栄 中 央 小	2	54	2	54	2	49	2	43	2	58	2	58	12	316	1			1			1	2	13	318	
栄 北 小	1	24	1	17	1	16	1	18	1	36	1	27	6	138									6	138	
大 面 小	2	38	2	46	1	23	1	38	2	43	2	43	10	231		1	3				1	4	11	235	
長 沢 小	1	24	1	29	1	30	1	25	1	31	1	24	6	163	2		1	2		1	2	6	8	169	
笹 岡 小	1	10	1	10	1	7	1	14	1	9	1	10	6	60									6	60	
大 浦 小	1	10	1	11	1	7	1	14	1	11	1	12	6	65	1						1	1	7	66	
森 町 小	1	13	1	9	1	12	1	23	1	16	1	21	6	94					2		1	2	7	96	
荒 沢 小	1	14	0.5	7	0.5	5	1	13	1	9	1	13	5	61									5	61	
飯 田 小	1	21	1	20	1	28	1	21	1	24	1	19	6	133	1	2	3		1		2	7	8	140	
小 計	43	1,007	43.5	973	37.5	979	38	1,002	38	1,009	40	1,076	240	6,046	11	27	21	18	16	11	29	104	269	6,150	
第 一 中	6	218	6	191	6	212							18	621	4	2	1					2	7	20	628
第 二 中	3	117	4	130	3	113							10	360										10	360
第 三 中	3	111	3	117	3	113							9	341	3		3					2	6	11	347
第 四 中	3	99	3	97	3	103							9	299		1	2					1	3	10	302
本 成 寺 中	3	108	3	97	3	105							9	310										9	310
大 崎 中	4	133	4	138	4	118							12	389	2							1	2	13	391
大 島 中	1	36	2	41	2	50							5	127										5	127
栄 中	4	127	3	108	4	135							11	370	1	1	1					2	3	13	373
下 田 中	3	111	3	113	3	101							9	325	3	1	2					2	6	11	331
小 計	30	1,060	31	1,032	31	1,050							92	3,142	13	5	9					10	27	102	3,169
合 計	73	2,067	74.5	2,005	68.5	2,029							332	9,188	24	32	30					39	131	371	9,319